

CHARACTER

～ステージでの活躍をお楽しみに～

アメリカのとある町に住む、なんのとりえもない小学生チャーリー・ブラウン。彼の周りには怒りんぼうのルーシー、ちゃっかり者の妹サリー、哲学的だが指しゃぶりや毛布を手放せないライナス、ベートーベンに心酔するシュローダー、そして彼の飼い犬で破天荒なビーグル犬・スヌーピーなど、個性豊かな仲間たち。彼らの日常は、小さな冒険にあふれています。学校に行き、野球をやって、宿題を片付けて、友だちとあわせについて語り合う。でも…とにかく「いい人」のチャーリー・ブラウンには、なにかと悩みがつきないのです——コミック『PEANUTS』のおなじみの場面を歌とダンス満載のスケッチで繋ぎ、最後には必ず心があたたかくなる、最高に“ハピネス”なハートフルストーリー、ミュージカル『きみはいい人、チャーリー・ブラウン』! ここではミュージカルの中の台詞から、各キャラクターの性格を紐解きます。



「良いことには必ず
終わりが来る」

RYOUTA MURAI

チャーリー・ブラウン / 村井良大

不器用でやることなすこと裏目が出る。全くさえないけど、とにかくいい人。監督も務める野球チームではピッチャーとして奮闘。愛犬のスヌーピーからは「いつもご飯をくれる丸頭の男の子」と認識されている。「チャーリー・ブラウンは挑戦し続けるという点において世界チャンピオンであり、これは重要なことだと思う」by チャールズ・M・シュルツ。

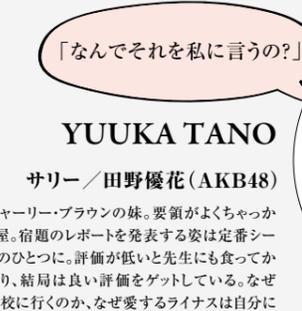


「女王国を買ってそこに女王
を叩き出して、国政を乗っ取るの。
私がトップの女王様よ!」

AYAHY TAKAGAKI

ルーシー / 高垣彩陽

口うるさいガミガミ屋だけど、大好きなシュローダーの前では女の子らしい一面も。野球チームではライトを担当。将来は女王か大統領になりたいという高い願望を持つ誇り高き女子。弟のライナスからいつか毛布を引き離したいと考えている。辛口のカウンセリングが持ち味の精神分析スタンドのドクターとしてもおなじみ。



「なんでそれを私に言うの?」

YUUKA TANO

サリー / 野田優花 (AKB48)

チャーリー・ブラウンの妹。要領がよくちゃっかり屋。宿題のレポートを発表する姿は定番シーンのひとつに。評価が低いと先生にも食ってかかり、結局は良い評価をゲットしている。なぜ学校に行くのか、なぜ愛するライナスは自分に振り向いてくれないのか…考えてもわからないときは彼女の哲学、「関係ないでしょ?」で解決。



「毛布を持たずに親指をしゃぶるなんて、
アイスクリームの乗ってないコーンを
食べるようなものさ」

KAZUKI FURUTA

ライナス / 古田一紀

哲学的で知的なルーシーの弟。威張ってばかりのルーシーにたびたびひどい目に遭わされても、心優しい言葉をかけてあげられる博愛精神の持ち主。トレードマークは水色の“安心毛布”と指しゃぶり。常に理性的だがハウインのカボチャ大王にだけは妄信的。サリーに「私の愛するパパーちゃん」と呼ばれるのがとても苦手。



「まあ、典型的な犬の人生だね。
あの丸い頭が学校から帰ってきたら、
興奮したフリをするんだ」

AKINORI NAKAGAWA

スヌーピー / 中川晃教

チャーリー・ブラウンの飼い犬で、想像力に富み、自信に満ちあふれた“世界で一番有名なビーグル犬”。(フライング・エース) [ジョー・クール] [世界的に有名な弁護士] などさまざまなキャラクターに扮する変装好き。とっておきは“ハッピーダンス”で喜びを表現する食事の時間! 黄色い小鳥のウッドストックが親友。



「芸術!芸術!芸術!芸術!芸術!」

MITSUAKI HIGASHIYAMA

シュローダー / 東山光明

ベートーベンを敬愛している天才音楽家少年。いつもおもちゃのピアノを弾いており、彼がピアノ以外に時間を費やすのは、チャーリー・ブラウンが監督をつとめる野球チームからキャッチャーとして召集されると、ルーシーからの熱心な愛の告白を払いのけているとき、どんなときだった彼の頭の中を支配するのは「芸術!」。



?????

オスマー先生 / 大和悠河 (声) サリーの担任の先生。個性的なレポートにもシビアな採点で対応。PEANUTSでは貴重な正真正銘の大人。

「きみはいい人、チャーリー・ブラウン」 2017.4.9 [sun] - 4.25 [tue]

チケット好評発売中 料金 10,800円(全席指定・税込)

インターネットでのご購入は【東宝ナビザーブ】 まずはご登録を!
東宝演劇ホームページからアクセス <http://www.toho.co.jp/stage/>

【東宝テレザーブ】 03-3201-7777 営業時間 9:30~17:30

その他、お取り扱いプレイガイド
チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット、CNプレイガイド、セブンチケット

	4/9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
13:30	●						●	●					●	●			
14:30		●							●	●					●	●	
18:00	●						●	●					●	●			
19:00		●							●	●					●	●	

●=貸切公演

日比谷 シアタークリエ 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-2-1

Text by: Yuka Yokozawa

THE BROADWAY MUSICAL きみはいい人、 チャーリー・ブラウン

スペシャルガイド

大人のための
SPECIAL
GUIDE

HAPPINESS IS…ミュージカル『きみはいい人、チャーリー・ブラウン』が観られること!

「ミュージカル『きみはいい人、チャーリー・ブラウン』ってどんな作品?」と、興味津々のみなさんに、ミュージカルの歴史から原作コミックの『PEANUTS』について、そして2017年の日本版の見どころをお伝えするスペシャルガイドをお届けします!



幸せは敵を愛すること

1964.12.06

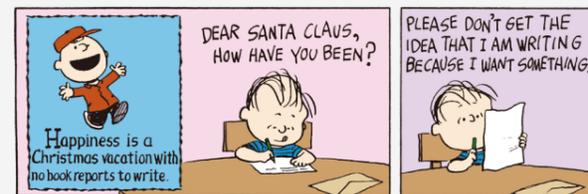


幸せはクリスマスプレゼントのお礼の手紙を残さず書くこと

やあ、チャーリー・ブラウン…入れよ…

ほらね? 言った通りだろ…

1964.12.27



幸せは宿題なしのクリスマス休み

サンタクロース様、お元気ですか?

何か欲しいから書いてるんじゃない。

1964.12.20

「SNOOPY COMIC ALL COLOR 60'S」 (角川文庫)に収録



I ミュージカル『きみはいい人、チャーリー・ブラウン』は、アメリカ生まれの人気コミック『PEANUTS』に登場するチャーリー・ブラウン、ルーシー、サリー、ライナス、シュローダー、そしてビーグル犬のスヌーピーが繰り広げる物語。そう、日本でもおなじみのキャラクター、スヌーピーたちのミュージカルです。

II 『PEANUTS』——多くの日本人にとってはキャラクターグッズとしての印象のほうが強いかもしれませんが、コミックとしての歴史は長く、原作者のチャールズ・M・シュルツ氏が初めて新聞に連載を開始したのは1950年10月2日のこと。可愛らしく個性豊かなキャラクターと、作者の哲学が垣間見えるシニカルでユーモラスでハートフルな日常描写。シンプルな線の中に詰め込まれた豊かな感情表現は読者の心をガッチリと掴み、やがて『PEANUTS』は世界75カ国で愛される作品へと育っていくこと。日本では1960年代後半に詩人の谷川俊太郎氏が訳をつけたコミックブックが発売、時を同じくしてキャラクターグッズも手に入りになり、一気にその知名度を広げていきました。

III シュルツ氏が1962年に出版した『幸せはあたたかい子犬 (HAPPINESS IS A WARM PUPPY)』という本があります。このタイトルは、1960年4月25日掲載話でルーシーがスヌーピーの頭をなで、ぎゅっと抱きしめたあとに言った台詞ですが、実は“HAPPINESS IS ~”は、『PEANUTS』という作品のひとつの核とも言えるフレーズ。

コミックではそのあとに続けて“自分の名前が入った図書館のカードを持つこと”“フライドポテトのつけあわせ!”など、発言するキャラクターのセンスが光るパリエーションを見つけることができます。ちなみにミュージカル『きみはいい人、チャーリー・ブラウン』では、さまざまな“HAPPINESS IS~”が登場する『Happiness』という素敵なナンバーも用意されています。

IV そう。シュルツ氏がこの『PEANUTS』で伝えたかったのは、身の回りに存在している無数のしあわせのカタチ。決して大きさではなく、毎日の中でふと見つけてしまう“自分だけのとっておき”の大事なのです。コミックにはミュージカルに登場するキャラクター以外にもたくさんの仲間が描かれています。彼らはみな自分に正直で、友だちにやさしく、困難も糧にしながら生きることをエンジョイしています。「♪なやみはカバンにつめこんで 笑え 笑え 笑え~」。『PEANUTS』は数々のアニメーション作品にもなっています。これは、その中のサマーキャンプのエピソードでキャンプファイヤーを囲んだ『PEANUTS』の仲間たちが歌っている歌なのですが…人生のひとつのこたえが刻まれているとは思いませんか? シュルツ氏は『PEANUTS』を子ども向けに描いたことはないと言っていたそうです。さあ、大人のみなさん。肩の力をちょっと抜いてみてください。そして、改めて『PEANUTS』の仲間たちの会話に耳を傾けてみてください。日常を観察してみてください。あなただけの“HAPPINESS IS~”がきっと見つけれられるはずですよ。

4.9 (sun.) - 4.25 (thu.) シアタークリエにて上演!

